



「先生、大学院ってなんですか？」 そこから始まる新しい繋がり

琉球大学の大学院生である江田さんが、真和志高校とコラボ授業を実践してくれました。今回は「まちあるき」。まちあるきって・・・？



自己紹介は大ウケ、外は炎天下

教科担任と大学院生は同級生。先生の昔の写真を紹介されて大ウケの生徒達。院生が学び、制作してきた作品にも興味津々でした。

クリエイティブアーツコースは、今までも繁多川公民館やセカンドスクールを通して色々な施設や小学校等とコラボ授業や作品展示会を行ってきました。そして今回、クリエイティブアーツコースの3つある専攻のうち、「映像表現」という写真・映像を学ぶことができる授業内での取り組みで、琉球大学生や大学院生とコラボすることになりました。

今回のコラボでは、ゴールを琉大祭の場所作りへ関わることに見据え、高校付近・琉大構内の「まちあるき」を通して写真集を制作・完成することを目標としています。また、授業や当日の参加を通して、大学生や地域の人と交流して、視野を広げ、来年の卒業制作への良い刺激になれたらというねらいも込められています。

自己紹介の様子は笑いあり、真剣に聞く様子もありながら、生徒も含め大学院生も少し緊張しているような雰囲気を感じられました。

今回の授業で実践する、「まちあるき」とは、「考える力」と「感じる力」を同時に育てる美術のトレーニングです。見て・感じて・考えることが、作品づくりの深化へと繋がります。最初の取り組みとして、普段みつけている学校周辺の道や施設を改めて観察しながら、写真を撮っていきました。今回の授業では、簡易的な作品制作でフィードバックを行います。そして、また別の場所でもちあるきを行い、最後の作品制作へ繋げていく・・・そんな長期間コラボが今、スタートしました。

「クリエイティブアーツコースの授業は、
色々な場所や人とコラボします♪」